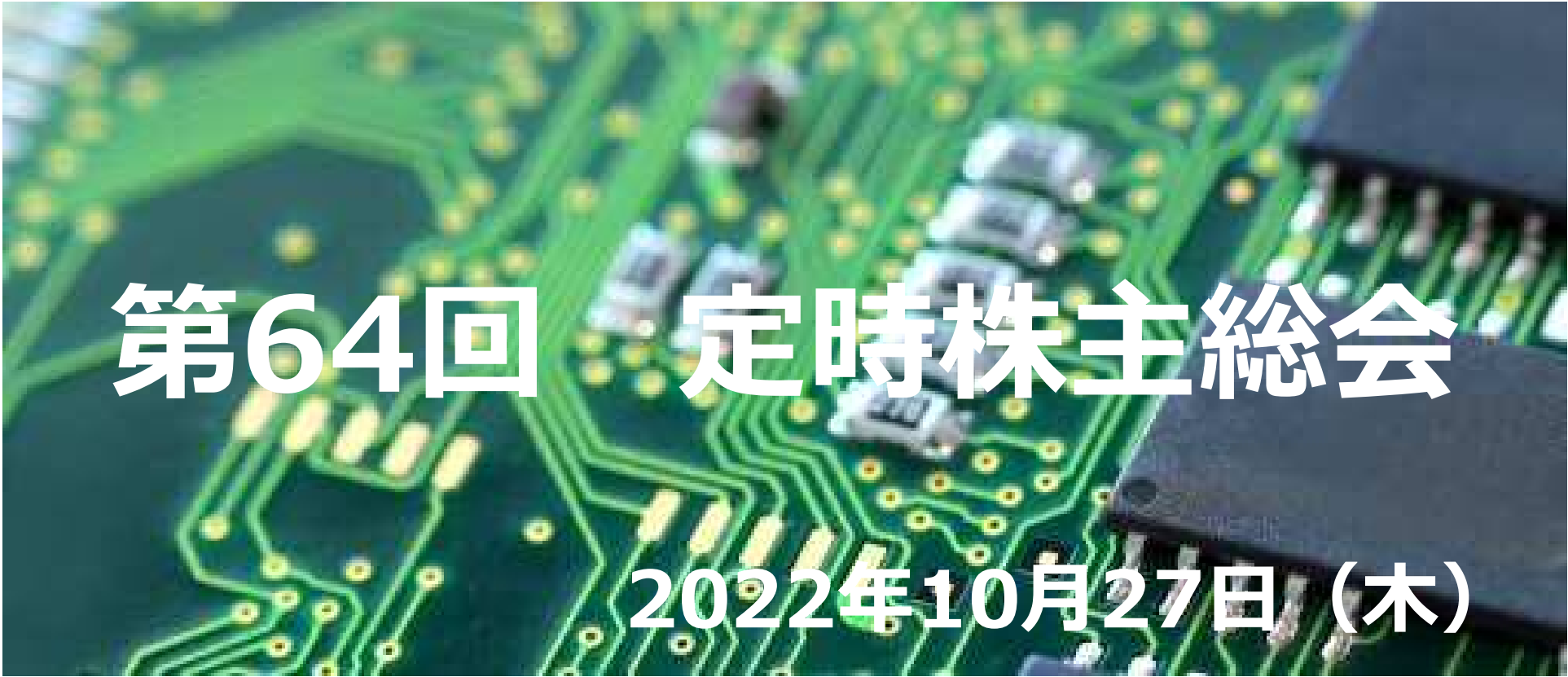




第64回 定時株主総会

2022年10月27日（木）

貴金属表面処理加工分野の
リーディングカンパニー



3441・東証スタンダード

新型コロナウイルス感染拡大防止について

- 本総会につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の感染防止策を実施させていただいております。
- 株主総会時のマスク着用をお願い申し上げます。
- 開催時間短縮のため、報告事項や議案の詳細なご説明を省略させていただきます。
招集ご通知の内容をご一読くださいますよう、お願い申し上げます。

株主の皆様へお願い



会場内では、
スマートフォン・タブレット
など情報機器の電源をお切り
いただくか、
マナーモードへの設定をお願い
いたします。

会場内での
「喫煙」、「撮影」、
「録音」は ご遠慮下さい。



入場票のご説明

- ご出席番号票は、株主総会終了までお持ち下さい。
- ご発言の際は、ご出席番号票に記載の番号とお名前をお申し出下さい。
- 再入場の際は、ご出席番号票が必要となります。ご出席番号票を受付にてご提示下さい。

開 会

監査報告

「連結計算書類に係る会計監査報告」
「計算書類に係る会計監査報告」
「監査等委員会の監査報告」

につきましては、

招集ご通知39ページから44ページに
記載の通りでございます。



事業報告

1.企業集団の現況に関する事項

2021年8月1日から2022年7月31日までの

- (1) 当事業年度の事業の状況
- (2) 財産および損益の状況の推移
- (3) 重要な親会社及び子会社の状況

につきましては、

**招集ご通知13ページから16ページに
記載の通りでございます。**



（４）対処すべき課題

(4) 対処すべき課題

当社グループの存在意義（パーパス）

**「私たちの働きで、社会のインフラを支え、
人々の暮らしの安全、便利な社会の実現に貢献する」**

ビジョン
(将来のありたい姿)

100年継続企業
すべての点で常に業界のトップを目指します

ミッション
(使命・目的・役割)

絶えざるチャレンジによって「できないをできる」に変え、新たな価値を創造し、社会の発展に貢献します

バリュー
(大切にしている価値観)

会社の発展と働く者の発展を一致させ、
会社、働く者が所属する地域社会の発展に貢献します

(4) 対処すべき課題

対処すべき課題の詳細につきましては、
**招集ご通知の16ページから17ページに
記載の通りでございます。**

- **中長期的な会社の基本戦略として、
持続的な成長を果たしていくために、
これらの施策を推し進めてまいります。**

1.企業集団の現況に関する事項

2021年8月1日から2022年7月31日までの

- (5) 主要な事業内容
- (6) 主要な営業所及び工場
- (7) 使用人の状況
- (8) 主要な借入先の状況
- (9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

につきましては、

**招集ご通知18ページから19ページに
記載の通りでございます。**

会社の現況並びに連結計算書類及び計算書類

2. 会社の現況

連結計算書類 計算書類

につきましては、

招集ご通知20ページから38ページに記載の通りでございます。

▶ 決算の状況と今後の方向性

2022年7月期業績ハイライト

▶ 大幅増収増益：前期に引き続き産業機械分野が好調

売上高 9,453百万円
↑ +17.4%

・産業機器向け需要旺盛、5G通信向けも堅調
→めっき需要は順調に拡大

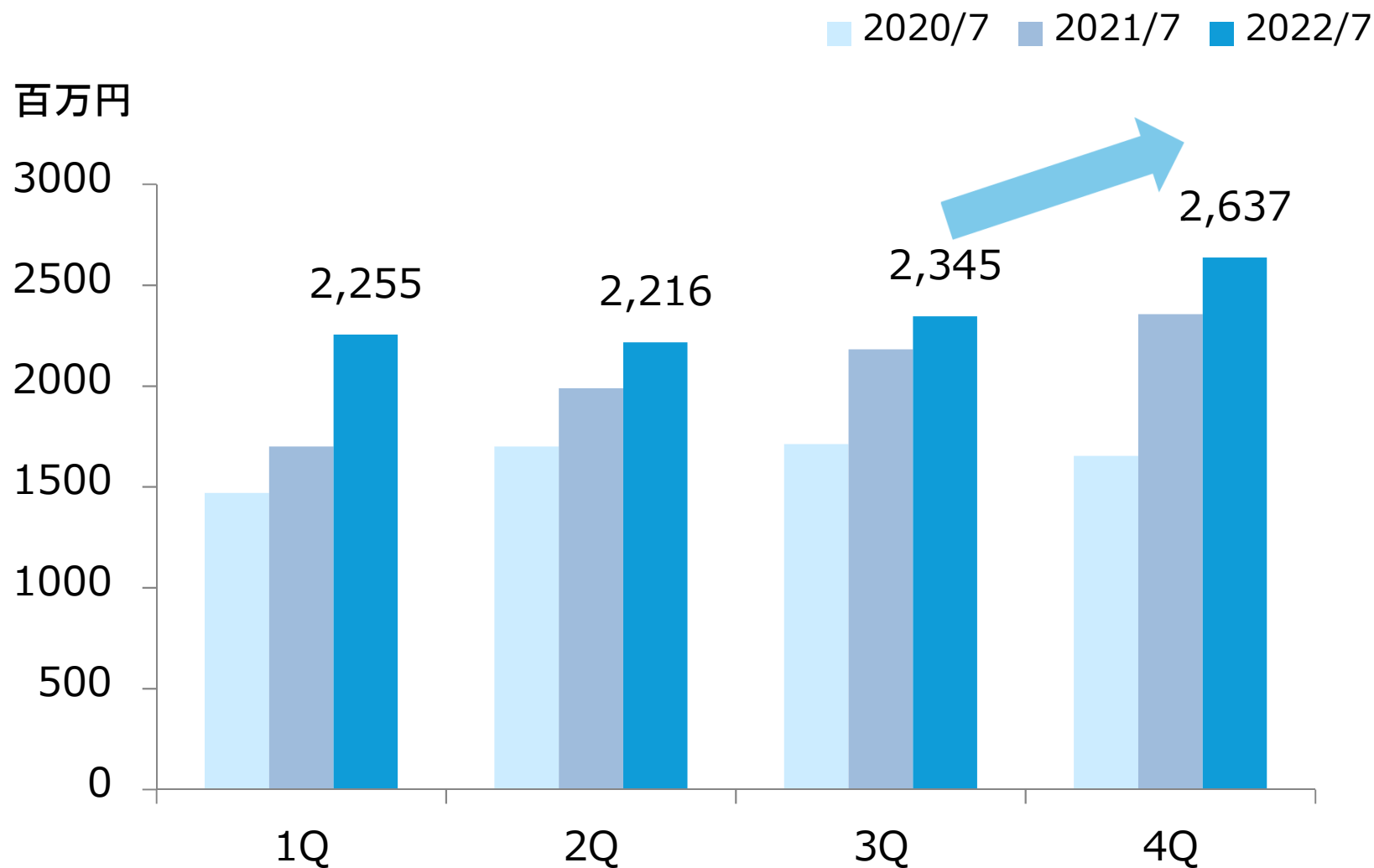
営業利益 501百万円
↑ +90.9%

・マーケティング強化と新ラインの増強、生産性向上により、旺盛な需要を背景に大幅増益

当期純利益 355百万円
↓ △63.2%

・前期は、関係会社出資金売却益を計上

▶ 受注好調、生産設備増強等により拡大



▶ めっき需要は安定成長へ、短期的には外部環境の変化を懸念

▶ 短期（2023年7月期）

▶ 中長期（2024年7月期～）

めっき事業は着実に成長継続。

5Gや車載など電子部品需要増加に伴うめっき加工需要は底堅く推移へ

懸念事項として

- ・ 緊迫した世界情勢なども影響し、
資材の高騰やサプライチェーンの混乱
 - ・ コロナ禍からスタートした
半導体生産停滞リスクが継続
 - ・ 上期は引続き受注好調が継続する
ものの、下期の世界情勢の影響は
不透明
 - ・ エネルギー価格の高騰
- 
- ・ 長期的には、
「社会のデジタル化」の進展で、
電子部品の需要は着実に増加へ
 - ・ 来期以降も
生産能力強化等、設備投資は
積極的に展開へ

2023年7月期 見通し：引き続き増収を想定

省人化投資、生産性改善策を積極的に推進

▶ 売上高 : 設備増強により9,700百万円 (+2.6%)

▶ 営業利益 : エネルギー価格高騰等のコスト増
300百万円 (△40.2%)

▶ 当期純利益 : 特別損益は想定せず、285百万円 (△19.9%)

(単位：百万円)

	2021/7 実績	2022/7 実績	2023/7 予想	増減額	前期比 (%)
売上高	8,051	9,453	9,700	+247	+2.6
営業利益	262	501	300	△201	△40.2
経常利益	243	507	330	△177	△35.0
親会社帰属 当期純利益	966	355	285	△70	△19.9

▶ 国内:設備増強による生産性向上、売上高の拡大

▶ フィリピン:車載需要が堅調に推移

(単位：百万円)

	2022/7 実績		2023/7 計画			
		構成比 (%)		構成比 (%)	増減額	前期比(%)
合計	9,453	100.0	9,700	100.0	247	+ 2.6
国内	7,860	82.8	8,000	82.5	140	+ 1.8
フィリピン	1,633	17.2	1,700	17.5	67	+ 4.1

今後の方向性

中長期的な会社の基本戦略

持続的な成長を果たしていくために

当社のパーパス：「当社の加工技術」による社会貢献



パーパス (存在意義)

▶ わたしたちの働きで、
社会のインフラを支え、
人々の暮らしの安全、便利な社会の実現に貢献します



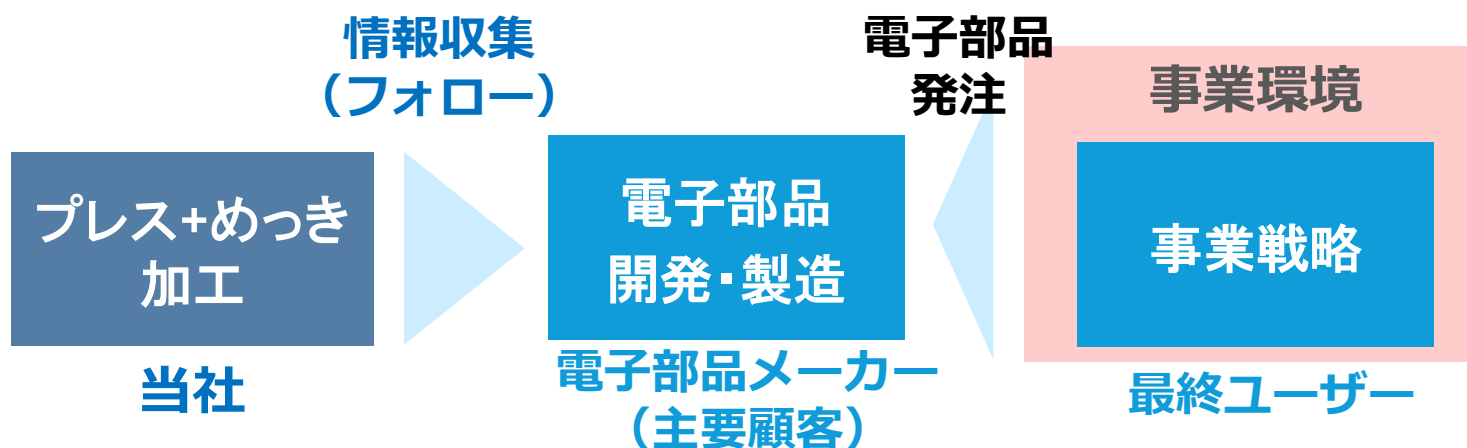
1. 市場の成長を確実に捕捉できる商品力と体制整備



安定したキャッシュ・フローを生む財務基盤の確立

+

2. 市場の最新動向を素早く把握する「情報収集力」の強化



ますます増加するめっき需要への対応力を強化

▶ 商品力強化、生産性向上、コスト対応力強化、開発力強化

めっきライン改造・新設による 加工体制の強化

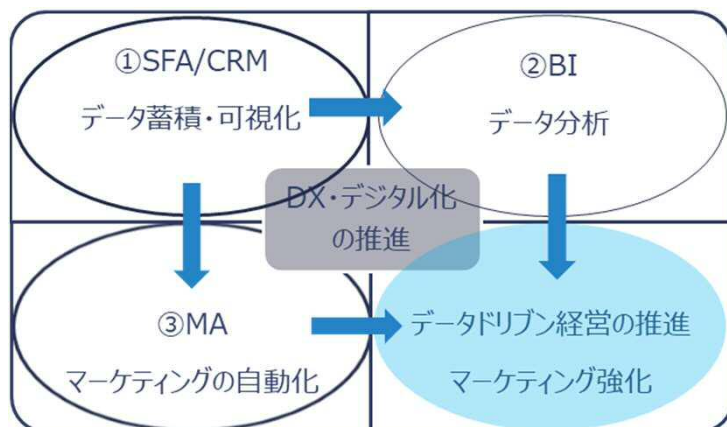
- 試作短納期対応
- 少量多品種対応
- 量産超高速化対応



プレス・めっき一貫生産強化

- プレス機増設
- 隣地生産による物流の効率化を推進し受注力を強化
- 東北事業部で太陽光発電を推進

▶ 情報収集力の強化



様々なツールを駆使し、データドリブン経営の推進

今後の方向性

中長期的な会社の基本戦略 持続的な成長を果たしていくために

- ① 受注拡大
- ② 収益力強化
- ③ 人材教育・育成
- ④ 環境への取組み
- ⑤ 新規事業推進

加工設備の増強・成長市場への集中投資

営業、マーケティング力の強化

プレス+めっき一貫受注の強化

自動化による省人化、デジタル化の推進

品質管理の強化

働き方改革の推進

新規事業の早期事業化

● 2022年7月期

● 2023年7月期

● 2024年7月期

● 2025年7月期

● 2026年7月期～

▶ グループ最大の生産拠点のさらなる充実

東北事業部（工場）の生産能力向上と加工体制強化はさらに推進

鈴川工場（神奈川）から量産加工を
移管し集約、量産設備を増設、改造

めっきライン増設

さらに増設へ



高難易度製品に対応可能な加工
技術、設備対応を随時推進

プレス加工を増強

プレス機増強

さらに増強へ



- ①物流のリードタイムを短縮
- ②秦野工場の技術に移管+自動化設備導入

省人化投資と生産能力増強

▶ 中長期的な電子部品需要増⇒めっき加工需要増に対応

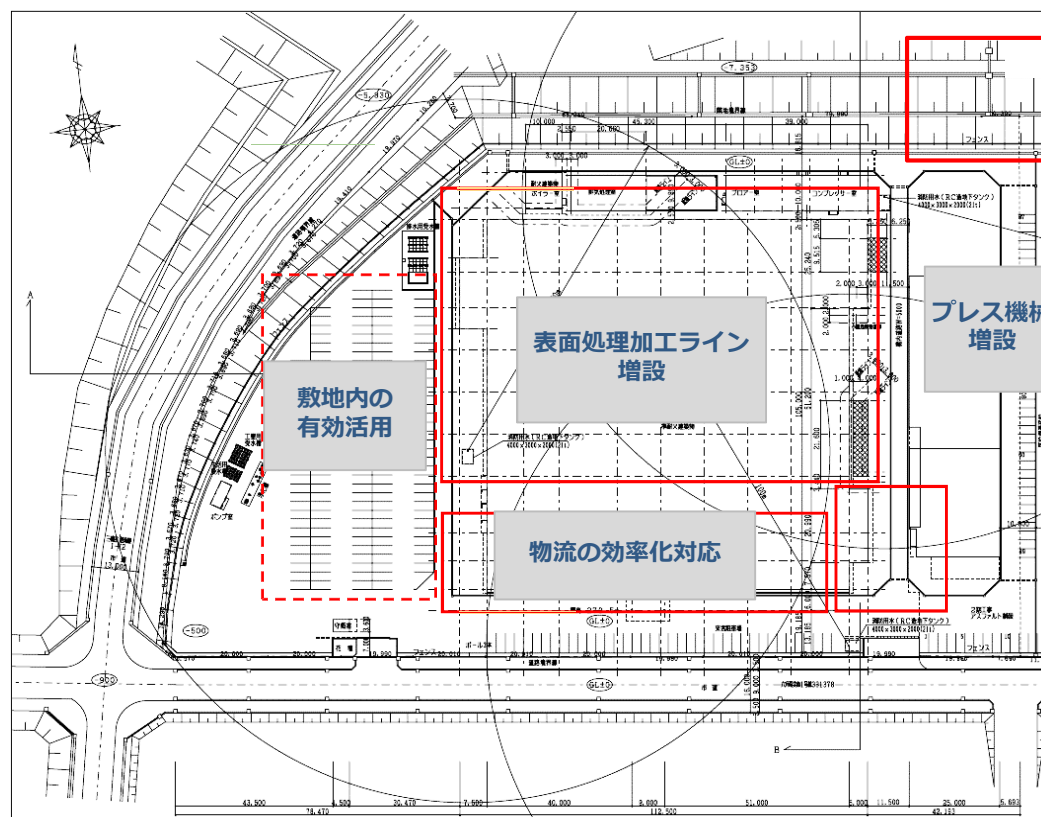
▶ 技術対応力増強と生産能力拡大へ



(福島県郡山市)

- ・設備の拡充
- ・物流の効率化
- ・生産設備の新設

プレス・めっき
一貫加工体制の強化
(生産の垂直統合)



・東北事業部(工場)の敷地面積: 33,000㎡

▶ 不祥事は二度と起こさない



内部統制・営業力強化、海外リスクへの対応



取締役社長に加え、本社部長級人材の投入による管理体制の強化

コンサルを導入し、内部統制の一層の強化

今後の方向性

中長期的な会社の基本戦略

持続的な成長を果たしていくために

- ① 受注拡大
- ② 収益力強化
- ③ 人材教育・育成
- ④ 環境への取組み
- ⑤ **新規事業推進**

▶ 共同開発による事業化を推進

「水素透過膜」「銀めっきアクリル粒子」等の新規開発品は、それぞれ企業等と秘密保持契約を締結の上、共同開発により事業化に向けた開発を推進

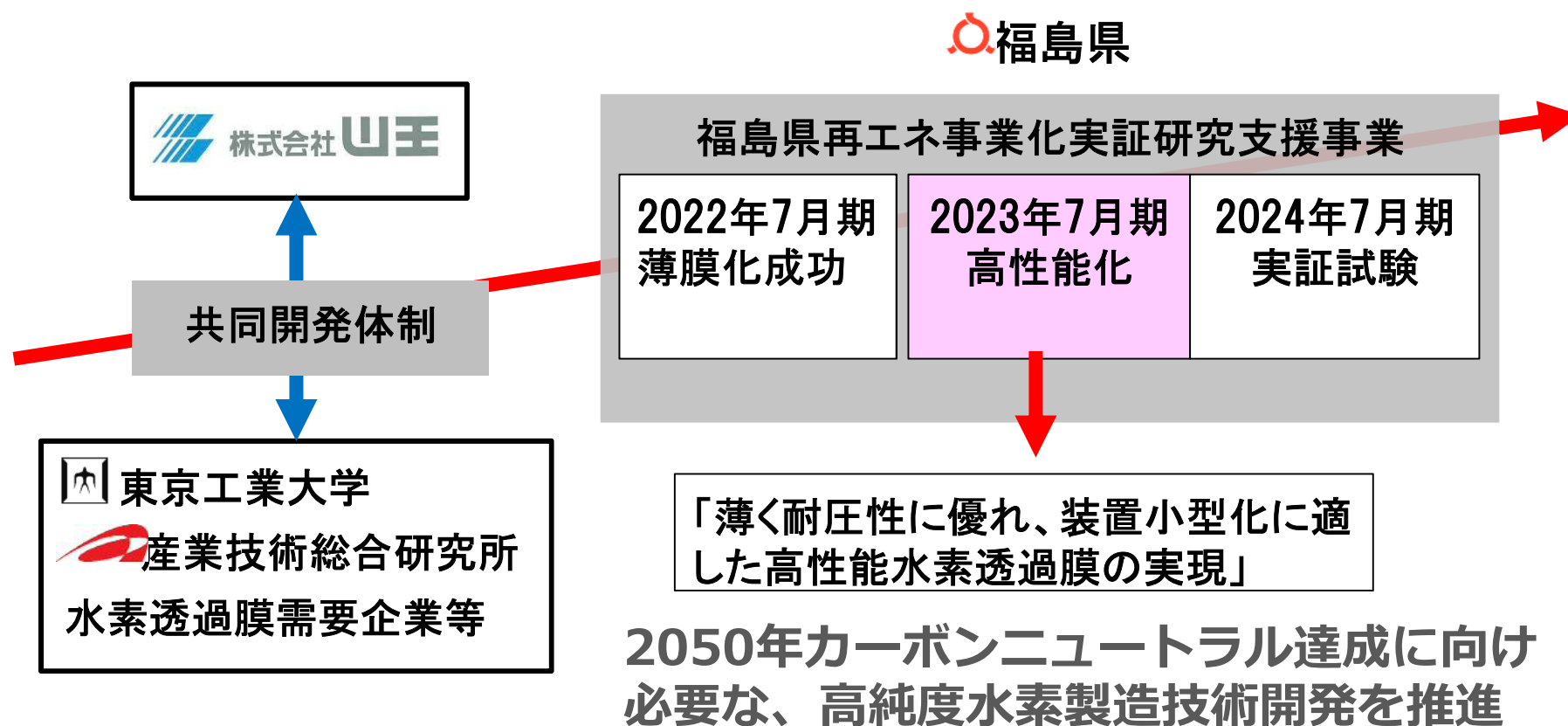
▶ 「水素透過膜」開発体制

当社の貴金属めっき技術により、薄く均一なパラジウム銅合金めっき膜を製造できる技術確立

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/fukushima-saiene/jugyoushuu.html>



▶ 「水素透過膜」 実用化に向けた計画



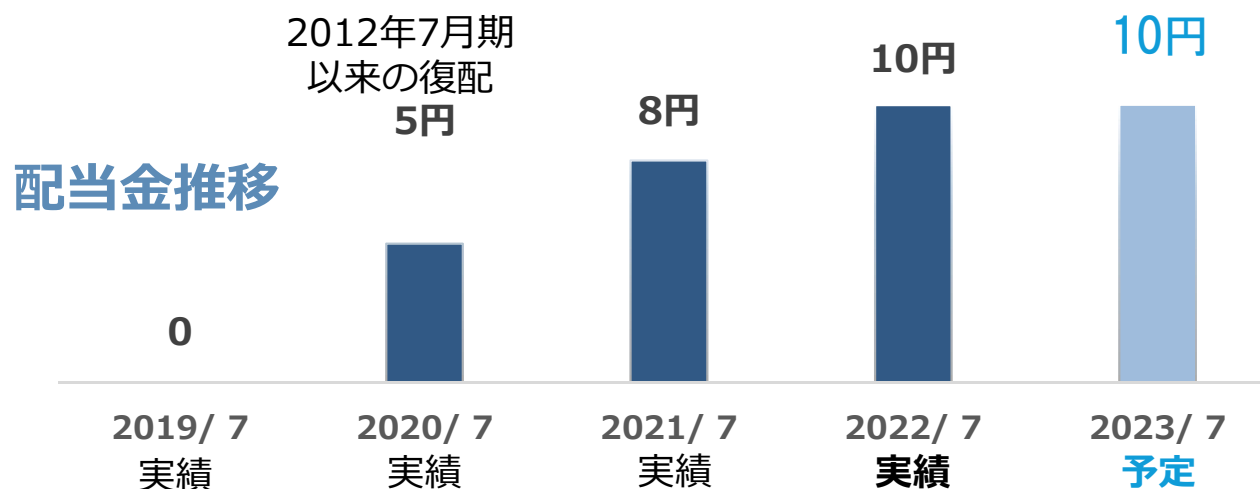
▶ 2023年7月期も、年間配当10円を維持

収益性の継続的な向上が実現

受注が安定、業績が回復し、配当を継続的に増配できる体質に

2023年7月期：年間10円を維持

今後も安定した株主還元策を行う方針





決議事項

第1号議案

剰余金処分の件

期末配当に関する事項

剰余金の配当につきましては、
当期の業績並びに今後の事業展開等を勘案し、
以下のとおりといたしたいと存じます。

配当金の種類

金銭

配当資産の割り当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき金10円
配当総額46,157,520円

配当金の配当が効力を生じる日

2022年10月28日

第2号議案

定款一部変更の件

2022年9月1日より、株主総会資料の電子提供制度が導入されたことに伴い、当社定款を変更するものであります。

「会社法の一部を改正する法律」（令和元年法律第70号）
附則第1条ただし書きに規定する改正規定が2022年9月1日に施行。

第3号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）6名選任の件

1 こうやま ふみなり
 甲山 文成
 (現任)

2 みうら ひさし
 三浦 尚
 (現任)

3 あらまき たくや
 荒巻 拓也
 (現任)

4 いのうえ てつや
 井上 哲也
 (現任)

5 はまぐち かずお
 浜口 和雄
 (現任)

6 ひぐち まさのぶ
 樋口 雅信
 (現任)



▶ ご発言・ご質問

お願い

- ご質問のある株主様は挙手いただき、指名されましたら左右いずれかのマイクにお進み頂きご質問下さい。
- ご出席番号票とお名前をお知らせ下さい。
- **新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から
関連質問も含めて
お一人様 1 問までのご質問で
お願い致します。**



議案採決

決議事項 第1号議案

剰余金処分の件

決議事項 第2号議案

定款一部変更の件

決議事項 第3号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）6名選任の件

閉 会

第64回 定時株主総会

ありがとうございました。
これからも株式会社山王を引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

貴金属表面処理加工分野の
リーディングカンパニー



3441・東証スタンダード